

Sunday

世界日報

コミュニティーの輪を広げよう

令和5年(2023)

5/14

今週の格言

桃李もの言わざれども
下した白みちずから蹊みちを成す

出所:『史記』李將軍列伝より



JINGI MONGOLIA ビャンバドルジさん

ひと(9面)

車椅子乗り 天職見つける



世界で
頑張っ
てます!

JINGI MONGOLIA
LTD. 現場管理員

ビャンバドルジさん

車椅子に乗りにつこりと微笑むビャンバドルジさん(写真左)は、4月にモンゴルから初来日。

「モンゴルでも障害を持つ人々が社会に出て行けるようにしたい」と、笑顔の奥に熱い思いを抱く。

車椅子生活で職を得るのは、簡単ではなかった。2021年秋、バス停で出会った青年に仕事を探していることを伝えると、青年はSNSにそれを投稿。そこで出会ったのが、お針子事業「Kimono Upcycle Cloth Ohariko」(日本リユースシステム株式会社)だった。同事業は、日本のまだ使えるが不要になった着物をモンゴルに送り、反物に戻して服やバッグ、靴などに生まれ変わらせる。

工房では、障害者やシングルマザーなど中心に10人余りが働いている。現在は現場管理員を務め、「毎日ワクワクで仕事が楽しい」と話す。工場長のソドチメグさん(右)には「通勤が大変だろうから家で仕事をしてもいいよ」と言われたが、「職場に通勤したい」と聞く耳を持たないのだという。そんなビャンバドルジさんに、日本の社長から車が贈られた。「バスで移動していた時は人に助けてもらっていたが、車を持ってからみんなを乗せてあげて人助けができるようになった」と喜びを語る。

障害を持つモンゴルの人々に「積極的に家から一歩出てみて」と呼び掛ける。(辻本奈緒子)